

★★★★県内最大のサービス網を誇る★★★★
千葉トヨペット
 千葉市稲毛海岸4-5-1 ☎0472(41)1181・大代表 〒280

退官にあたり

時の流れに思う

十年ひとむかしというが、わたしの年代から、平均したところから見て、千葉大学にお世話になったの年を定めてその選手の交遊の、学生時代から教員と四十代というものがわたくしにもあてはまる。千葉大学医学部がめられて今回の大学を去ること創立されて今年九十周年になる。なにかとあてはまる。

いまの一部分の若いひとたちは、一様ではなく、時には足踏みをしたり、退官するが、それにも過ぎず、現在、末こそある。

来、時の流れにだけはいかづき、

と、その寿命のひたひたまで、大学へ入学した昭和のはじめから、いまのところはせいぜい百まで、四十五年前にわたくしと

というところであらうが、たまたま、三分しか経たないが、明後、大正のころと比べて、きいてくるのは、なんとも、新鮮なスピードに比べて、

世間には「たてまえ」と「ほんね」が通って、

大学は自治を叫ぶ者の中に「たてまえ」は、

学問の自由で「ほんね」は自己保身のかくれみの

と、いえることがある。大学の民主化を要求する

学生が「たてまえ」は学問の自由であり、大学の

民主化であるが、「ほんね」は彼等の独断支配であ

ったことである。開業医にしても、「た

てまえ」は適正医療を地域社会の人々におこなう

ことであるが、「ほんね」は自分達の業績を誇

ったり、「かねうけ」以外のなんでもな

いということがある。

く進歩してないのは驚くが、

昨年あたりは、わたくしは、

と、十分に行けるようになったが、

肉は腐り、骨は折れ、

しに急激な進歩といえる。

万が一、千葉の進歩の速さ

のなかで、近頃ひとときめだ

速いのは、農漁村の都市化と工場

致に基づく公害の増加である。

千葉の町にしても、わたくし

が、その半分に減った。流れる

もの進歩は、少しもその速度が

七、八万だ。たとえ記憶するが、

まだ五十年前の頃のことだ。

から、今でも有数の町になって

計を慎重に審議するのはい

でも、悪いのは無責任な検討

の、その後の止るべきはき

つたり、すこし前に述べた

ように、記念講堂がそびえ

る。そのまわりの風景は、

のまわりの風景は、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

えすが、さういふことで、

みとる歩みで、過ぎる日を

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

と、そのまわりの風景は、

教授会副手制廃止を提案

医学部教授会は、四月二十日「副手制度廃止」の提案を出した。その内容は、以下の通りである。

一、副手は教員ではない不安定な存在である。このようなものが制度として存続することは適当でない。

二、附属病院を本来のべき姿にしたい。即ち、教員サイドにしたい。即ち、教員サイドにしたい。即ち、教員サイドにしたい。

三、副手は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、副手は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

四、副手は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、副手は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

五、副手は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、副手は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

学長制度改革試案

(抜粋)

2 学長選挙についての改定

① 学長は、大学の行政、教育、研究の総責任者である。その職務は、大学の発展のために、学部の長官、教員、学生、社会との関係をつとめることである。

② 学長の任期は、四年とする。ただし、必要に応じて、再選することができる。

③ 学長の選任は、学部の長官、教員、学生、社会の代表者からなる選挙委員会によって行われる。

④ 学長の職務は、大学の行政、教育、研究の総責任者である。その職務は、大学の発展のために、学部の長官、教員、学生、社会との関係をつとめることである。

無給医道い出しと反発

無給医会

教授会は「副手制廃止」と、それに伴う「無給医道い出し」を提案したが、無給医の代表者からは、この提案は、無給医の立場を無視している、と反発している。

一、無給医は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、無給医は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

二、無給医は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、無給医は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

三、無給医は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、無給医は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

千葉大学医学部には百二十四名の医師の働きがある。そのうち、無給医は、研究、教育、診療の三つの機能を果たす。そのためには、無給医は教員としての地位を認め、給与、年金、退職金など、教員としての待遇を享受する必要がある。

動脈硬化治療剤

アンヂニン

ANGININ

2,6ピリジンジメタノールビス (N-メチルカルバメート)

☆ 包装 アンヂニン錠 1錠 250mg 20錠 100錠 500錠

薬価基準 1錠(250mg) ¥ 48.90 (44.1.1より実施)

製造発売元 萬有製薬株式会社

100,000 医人の週刊医学雑誌

日本医事新報

毎週土曜日に発行 定価 二五〇円 送料 一八〇円

日本医事新報社 東京都千代田区神田駿河台2の9 (電)東京(292)1551(大代表)振替東京25171番

磯田（委員長）君塚（副委員長）

THE MINOR

縮刷	版 33	典
価三九〇〇円	B 小型二毛真 価二六〇〇円	典

半数を占める都内出身者

義	學	覽	覽	第三卷
下卷	12 版	7 版	7 版	14
上卷	B 5 三六〇頁	B 6 四一七頁	B 6 六一二頁	價六〇〇〇円
價三六〇〇円	價四三〇〇〇円	價一三〇〇〇円	價一九〇〇〇円	
價三五〇〇円				

新刊	改4月	価三二〇円
上巻		
下巻		
四八〇円		
四五〇円		

12 版	改21版	9
價一八〇〇円	價五五〇〇円	價四七〇〇円
A 5 三一九頁	B 5 七五四頁	

學	學	門	門	論	論	本恒雄著	39 版
9	改21版	11 版	12 版	7 版	II I	下卷上	上卷上
價四七〇〇円	B 五七五四頁 價五五〇〇円	A 五三三二頁 價一八〇〇円	A 五三三二頁 價一六〇〇円	B 五四三一頁 價三七〇〇円	價三二〇〇円 價三六〇〇円	價五七〇〇円 價五七〇〇円 價六二〇〇円 價六二〇〇円	價五七〇〇円 價五七〇〇円 價六二〇〇円 價六二〇〇円

卒業式

興
縮刷價四〇〇〇〇円
豪華価七二〇〇円

書

取扱店

南山堂
医学大辞典

前東医大教授
加藤 勝治編

医学英和大辞典

日本人体解剖学
第三卷
第二卷
第一卷

日本医大教授 金子丑之助著

森 山
元 實
男 男
優 必
著 携
解 解
剖 剖
學 學
要 要
覽 覽

卷三

日本解剖学全集
新刊对照
解剖学名集覽

山元實勇 公持 角 子 三 子 三 子

戸町近太郎著

組
緯
学

名大名譽教授
且
哉
乞

北每道大牧受
和田 正男 和
佐武 生 生
理 学 講 義

本川 弘一
編 藤田 上里
学 葺 疫

藤森 一他著
鈴木 泰三編
富木 主里学刊

北海道大教授
生
理
学

大阪大学教授

鈴木 泰三 編
星 孟 編
臨
床
生
理
學
新刊

九大名誉教授
戸田新細菌学

大陽大学教授
山村雄一著

新 医 化 学

廖應大學教授
牛場大藏著
細菌學入門

戸田 忠雄編

東大名醫教授
緒方知三郎著

病理學入門

牛場 大蔵著 **糸菌字入門**

東北大名醫教授
赤崎 兼義著

病理學總論

結方矩三郎著 氷点入門

赤崎 兼義編

病理學各論

東北大名譽教授 河田三吉

内
科
書
9 版

東大名譽教授 冲中重雄改訂 吳建・坂本恒

日本大学教授
有賀 鬼三著

内科診断学

内
科
書

